



2025 年 11 月 20 日

各 位

会 社 名 スター・マイカ・ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 水永 政志
(コード 2975 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員 長谷 学
T E L 03-5776-2785
U R L <https://www.starmica-holdings.co.jp>

配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025 年 11 月期の 1 株当たり配当予想（2025 年 1 月 14 日公表、2025 年 5 月 22 日及び 2025 年 9 月 30 日修正）について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想（2025 年 9 月 30 日）		18 円 00 銭	33 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		22 円 00 銭	37 円 00 銭
当 期 実 績	15 円 00 銭		
前期実績（2024 年 11 月期）	10 円 50 銭	12 円 50 銭	23 円 00 銭

2. 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置づけております。そこで中期的には、次のキャピタルアロケーションポリシーに基づき、利益配分については、今後の成長投資を優先したうえで、年 2 回の中間配当及び期末配当として安定的かつ増配にて実施していくとともに、PBR 1 倍割れ等割安と判断する場合に機動的に行う自己株式の取得と合わせて、総還元性向 40%を目指しております。

（キャピタルアロケーションポリシー）

長期での企業価値の最大化を実現するため、次の 5 つを基本ポリシーとし、規律ある成長投資と株主還元を実現することを目指します。

- ① ROE 向上、株主資本コストの適正水準維持により、企業価値及びエクイティスプレッドの最大化を目指す
- ② 自己資本比率を注視しつつ、低コストでの借入を図る
- ③ 新たな価値を創造するために、成長投資を優先させる
- ④ 成長投資後の余剰資金については、安定配当・増配を継続する
- ⑤ PBR 1 倍未満の場合、機動的に自己株式の取得を行い、総還元性向 40% / EPS 成長 14%を目指す

2025 年 2 月 21 日に開催の取締役会において、取得価額の総額 3 億円（上限）の自己株式の取得を決議し、現時点で約 2 億円を取得しております。

今般、経営環境や株式市場の変化等を総合的に勘案し、現在の自己株式取得は本日付で中止し、未消化の約1億円分は、株主の皆様への直接的な利益還元として、期末配当の一部へ振り替えることといたしました。

また、2025年11月期は、第3四半期累計期間として売上高・利益ともに過去最高を記録する等、業績が極めて好調に推移しております。2025年9月30日公表の「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」に記載のとおり、中期経営計画の最終年度である2026年11月期の計数目標として設定した「売上高700億円、営業利益70億円、当期純利益38億円」のうち、「営業利益70億円、当期純利益38億円」を1年前倒しで達成する見込みであります。

これらを受け、2025年11月期の期末配当予想を、上記振り替え分も加味し、1株当たり4円増額し、22円00銭（年間配当予想33円00銭から37円00銭）に修正することといたしました。

以 上